

まちかど特派員のページ



▲水口高校吹奏楽部による招待演奏



▲100人以上が大合唱した庄巻のステージ

甲賀郡の時から続いてきたこの合唱祭ですが、町村合併で甲賀市、湖南市になつてからも1つの団体として「かふか合唱祭」と名前を新たにし、続けてこられました。来年は40周年を迎え、再来年の夏には40周年を記念する大きな音楽祭を企画しているそです。

地域の皆さんに合唱の楽しみを伝えるために長く続いてきた合唱祭、人生の楽しみを見つけるきっかけになるかもしれませんよ。一度合唱の世界を覗いてみてください。

甲賀郡の時から続いてきたこの合唱祭ですが、町村合併で甲賀市、湖南市になつてからも1つの団体として「かふか合唱祭」と名前を新たにし、続けてこられました。来年は40周年を迎え、再来年の夏には40周年を記念する大きな音楽祭を企画しているそです。

地域の皆さんに合唱の楽しみを伝えるために長く続いてきた合唱祭、人生の楽しみを見つけるきっかけになるかもしれませんよ。一度合唱の世界を覗いてみてください。



こうかまちかど特派員

うかい
鵜飼
のりこ
典子

総勢100人以上の大合唱



▲日頃の練習の成果を披露

かふか合唱祭は、甲賀市と湖南市で活動する16組の合唱団が一堂に会し、日頃の成果を発表する年に一度の合唱の祭典です。朝9時頃から続々と集まつてくる合唱団の皆さん、午前中にロビーでの練習とステージリハーサルを行い本番への準備をします。午後から始まった本番では、きらびやかな衣装に身を包んだ合唱団がステージに登場し、数々の合唱曲を披露します。本格

的な合唱曲から耳なじみのある懐かしい歌謡曲、ポップスなど、聞き飽きない曲目と楽しめる演出で観客を魅了していました。招待演奏では、水口高校吹奏楽部の生徒さんも歌つていただき、合唱の楽しみを存分に味わえる1日でした。

合唱の楽しみを「かふか」の地域に

11月20日、あいこうか市民ホールで開催された第39回かふか合唱祭を紹介します。

合唱祭を存じですか

かふか合唱祭は、甲賀市と湖南市で活動する16組の合唱団が一堂に会し、日頃の成果を発表する年に一度の合唱の祭典です。朝9時頃から続々と集まつてくる合唱団の皆さん、午前中にロビーでの練習とステージリハーサルを行い本番への準備をします。午後から始まった本番では、きらびやかな衣装に身を包んだ合唱団がステージに登場し、数々の合唱曲を披露します。本格

宮地区自治振興会と山内自治振興会は平成26年から交流事業を実施しています。今年は文化祭事業の相互交流として11月20日に開催されました山内自治振興会のやまびこ文化祭で宮の特産品であるもち米・草もちなどを販売しました。また、会場内でもちつきを行い、つき上がったおもちを来場された方に振舞いました。

用意していたおもちゃもすぐになくなり、特産品の販売も好調で宮地区の良いアピールができ、山内自治振興会と親交が深まる1日となりました。

山内自治振興会との交流事業 [甲南第三地域市民センター]



▲コンサート出演者とイルミネーション

年末年始を彩るイルミネーション [岩上地域市民センター]

今冬も、岩上体育館前でイルミネーションを点灯しています。

12月3日の点灯式を迎えるまでは、岩上自治振興会の役員や多くのボランティアが休日にもかかわらずイルミネーションの準備を進めてきました。

点灯初日は、クリスマスコンサートも開催され、たくさんの地域の皆さんが点灯式を楽しみました。1月6日まで点灯していますのでぜひ岩上イルミネーションをお楽しみください。



▲やまびこ文化祭でのもちつき

自主防災会の設立に向けて [土山地域市民センター]

土山学区自治振興会安心・安全・環境部主催の講座が11月22日、土山中央公民館で開催されました。

これは、「自主防災会」の設立準備を進めている土山西地区の区民を対象に、市の出前講座を活用して、今回実施されたものです。

講演では、過去の大震災では多くの方が隣近所の方に救出された事例も報告され、改めて共助の大切さを知るとともに地域で互いの命を守る組織の必要性を再確認しました。



▲講座開催の状況

信楽地域市民センターの玄関前に巨大鉢植えがお目見えしました。直径1.2メートル、重さ130kgの植木鉢は、昨秋の信楽まちか芸術祭時に信楽駅構内で訪れるお客様の目を楽しませてくれたものです。

11月17日には、長野区園芸クラブの皆さんのが紅白の葉牡丹14株を植えてくださいました。今後も四季折々の花で彩られることがあります。



▲市民センターを訪れた姉妹とジャンボ鉢植え

直径1・2メートルジャンボ鉢植えが出現

信楽地域市民センター